

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社アスモ
【英訳名】	ASMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長井 尊
【本店の所在の場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室室長 岡田 秀樹
【最寄りの連絡場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室室長 岡田 秀樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期連結 累計期間	第39期 第2四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	4,486,581	6,909,257	9,872,253
経常利益(千円)	364,937	1,050,065	821,273
四半期(当期)純利益(千円)	305,389	836,761	768,143
四半期包括利益又は包括利益(千円)	313,267	880,170	869,099
純資産額(千円)	1,742,689	3,184,809	2,304,639
総資産額(千円)	3,133,747	4,647,627	4,087,359
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	2.18	5.97	5.48
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.8	63.7	51.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	385,439	825,260	621,016
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	55,965	228,957	424,284
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	181,952	409,972	224,169
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	802,243	871,784	674,004

回次	第38期 第2四半期連結 会計期間	第39期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.05	3.18

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第38期第2四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第38期、第39期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

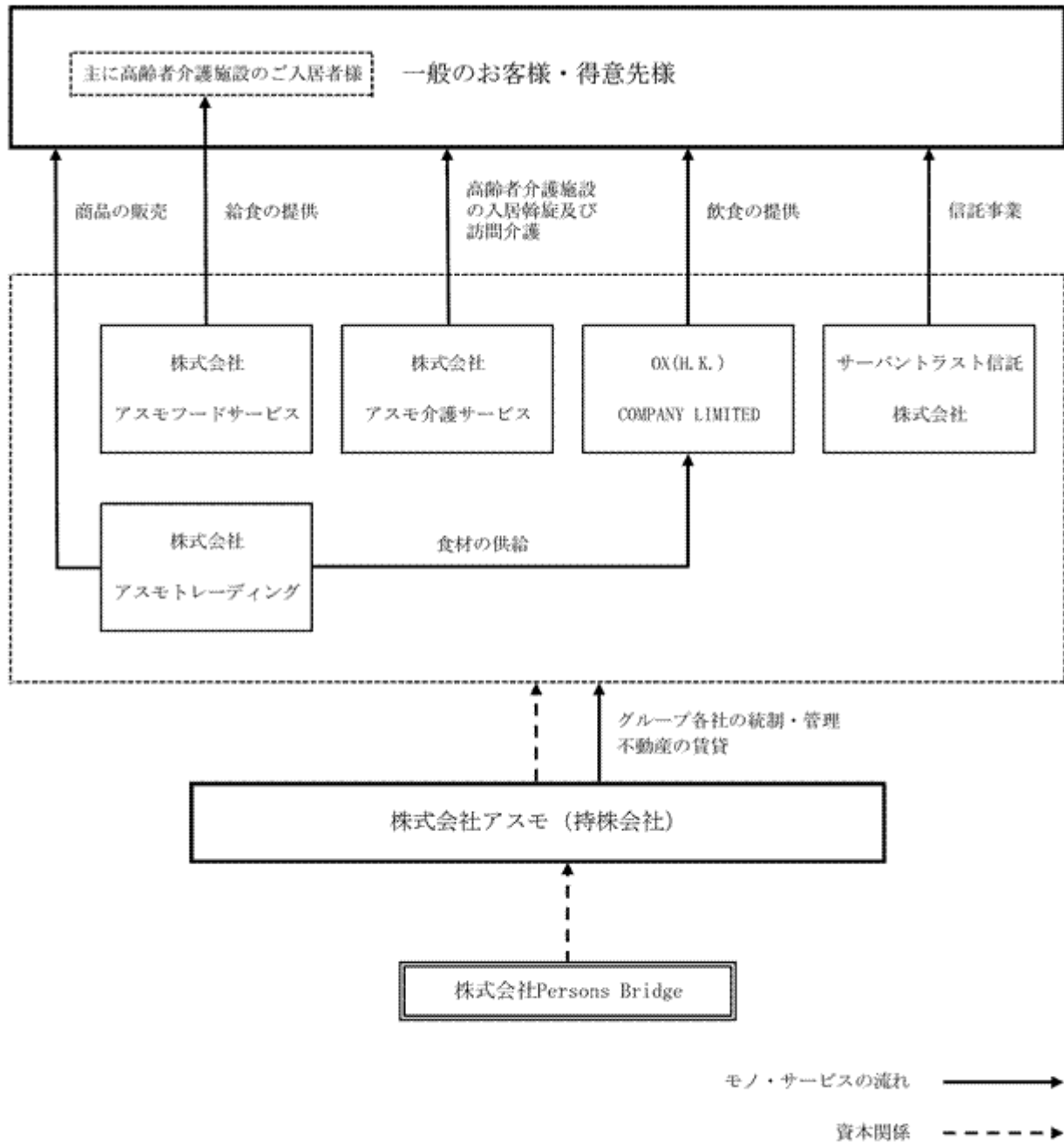
なお、当社は平成25年4月1日付で、当社が営む卸売事業及び給食事業を会社分割により当社の100%子会社に承継いたしました。また、当社は持株会社として、事業目的を持株会社制移行後の事業に合わせて変更しております。

この結果、当社グループは、当社及び連結子会社5社により構成されております。

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX(H.K.)事業 (OX(H.K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバントラスト信託株式会社)	信託事業

事業の系統図は、次頁のとおりであります。



第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和などの効果により、円高の是正や株式市場が活況となり、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む(株)アスモレーディング、給食事業を営む(株)アスモフードサービスを新設分割の方法により設立いたしました。

今後、当社は持株会社として経営戦略業務に特化し、各子会社は前述新設分割の目的を達成することで事業規模の拡大と経営基盤の強化をはかり、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,909百万円（前年同四半期比 54.0%増）、営業利益1,062百万円（前年同四半期比 182.7%増）、経常利益1,050百万円（前年同四半期比 187.7%増）となり、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、836百万円（前年同四半期比 174.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモレーディング事業 (株式会社アスモレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX(H.K.)事業 (OX(H.K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバントラスト信託株式会社)	信託事業

アスモレーディング事業

アスモレーディング事業におきましては、穀物価格高騰による飼料価格の上昇や円安の進行による原材料輸入価格の上昇、原油高による運送・保管料等の上昇が依然として続いており、仕入コストが増加してはりましたが、ようやくそれに合わせて販売価格に転嫁させることができるようになりました。

また、販売に関して低価格商品中心の販売が増加し、中でも当初の予算と比較して冷凍ポークの販売が増加したことと、当社の特徴であるメキシコ産商品の供給により他社との差別化を図ることで、安定的な取引を継続することができました。

今後は、メキシコ産商品に加えて米国産牛肉や畜種の取扱いを増やし、合わせて当社独自の視点により日本のマーケットに見合った商品を開発することで、既存顧客の満足度の向上と新規顧客の拡大で販売の増加に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,005百万円、セグメント利益（営業利益）は、1百万円となりました。

アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、積極的な営業活動により受託施設数が、前連結会計年度末と比較して当第2四半期連結会計期間末現在28施設増加し、265施設（前年同四半期末時点は219施設）となりました。また受託先につきましても、高齢者施設以外で「官公庁の食堂・大学の学食・病院における食事提供」など、様々な業態にお食事の提供を始めさせていただいております。

今後におきましても、より積極的に多くの分野に対して給食の提供を働きかけることで、様々なニーズに対応してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,266百万円、セグメント利益（営業利益）は、93百万円となりました。

アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、前期に当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護の分野に進出いたしました。

新たに開始しました訪問介護につきましても、事業の開始以来積極的な事業所の開設を進めており、当第2四半期連結会計期間末時点において、31事業所（大阪府内10事業所、埼玉県内6事業所、神奈川県内4事業所、千葉県内3事業所、東京都2事業所、他6事業所）を設置し、ご契約者数は1,332名となっております。

今後におきましても、関東を中心に事業所の営業を開始し、ご契約者数は大幅に増加すると考えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,731百万円、セグメント利益（営業利益）は、730百万円となりました。

OX（H.K.）事業

OX（H.K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗を運営しており、当第2四半期連結会計期間において、新規2店舗を出店し香港における当社の存在感を高める事に注力しております。

また本社機能の向上とセントラルキッチン機能の向上を図るべく本社機能を移転させ、売上の構成比率を飲食店収入だけでなく、香港に進出している日系飲食店向けの卸業務収入や香港進出を検討している日系企業へのコンサルティングなど多角的な収益構造を構築してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、874百万円、セグメント利益（営業利益）は、57百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、871百万円となり、前連結会計年度末より197百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、825百万円（前年同四半期は385百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,047百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、228百万円（前年同四半期は55百万円の支出）となりました。これは主に、貸付による支出120百万円、有形固定資産の取得による支出95百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、409百万円（前年同四半期は181百万円の支出）となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済408百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、274名増加しております。これは主としてアスモ介護サービス事業において、訪問介護事業所が増加したこと等によるものであります。

なお、従業員数は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であります。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、セグメントごとの仕入、販売実績が次のとおり著しく変動いたしました。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比(%)
アスモ事業 (千円)	-	-
アスモトレーディング事業 (千円)	1,039,222	-
アスモフードサービス事業 (千円)	1,244,287	-
アスモ介護サービス事業 (千円)	-	-
OX(H.K.)事業 (千円)	267,504	-
報告セグメント計 (千円)	2,551,014	-
その他 (千円)	-	-
合計 (千円)	2,551,014	121.7

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比(%)
アスモ事業 (千円)	4,580	-
アスモトレーディング事業 (千円)	1,005,861	-
アスモフードサービス事業 (千円)	3,266,935	-
アスモ介護サービス事業 (千円)	1,731,983	-
OX(H.K.)事業 (千円)	874,498	-
報告セグメント計 (千円)	6,883,858	-
その他 (千円)	25,398	-
合計 (千円)	6,909,257	154.0

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	600,000,000
計	600,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	151,451,750	151,451,750	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	151,451,750	151,451,750	-	-

(注) 発行済株式数のうち4,610千株は、現物出資(貸付金債権299,650千円)によるものであります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	151,451	-	2,323,272	-	2,336,010

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社Persons Bridge	東京都新宿区西新宿三丁目2-7 パシフィックマークス西新宿ビル7階	82,000	54.14
株式会社ベストライフ	東京都新宿区西新宿二丁目6-1 新宿住友ビルディング39階	15,284	10.09
長井 博實	東京都杉並区	13,964	9.22
バンクオブニューヨーク メロン エス エー エヌブイ フォー ビーエヌワイ ジーシーエム クライアント アカウ ント イー エルエス シービー (常任代理人 株式会社三井住友銀行)	ONE CHURCHILL PLACE LONDON E14 5HP UNITED KINGDOM (東京都千代田区大手前一丁目2-3)	1,595	1.05
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6-1	1,538	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社	東京都中央区晴海一丁目8-11	1,511	0.99
山崎 理恵	東京都港区	1,100	0.72
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2-10	766	0.50
武田 昌姫	神奈川県横浜市	584	0.38
辻 隆司	大阪府富田林市	508	0.33
計	-	118,850	78.47

(注) 1. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて信託業務に係るものであります。
2. 上記のほか、自己株式が11,242千株あります。

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,242,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 140,197,000	140,197	-
単元未満株式	普通株式 12,750	-	-
発行済株式総数	151,451,750	-	-
総株主の議決権	-	140,197	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アスモ	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号	11,242,000	-	11,242,000	7.42
計	-	11,242,000	-	11,242,000	7.42

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,004	871,784
受取手形及び売掛金	1,288,914	1,445,255
商品	266,011	248,569
貯蔵品	11,957	13,120
繰延税金資産	446,616	493,011
その他	73,013	228,767
貸倒引当金	2,104	23,606
流動資産合計	2,758,414	3,276,902
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	575,331	634,916
有形固定資産合計	575,331	634,916
無形固定資産		
のれん	572,306	537,084
その他	2,242	3,602
無形固定資産合計	574,549	540,686
投資その他の資産		
その他	513,477	514,000
貸倒引当金	334,412	318,878
投資その他の資産合計	179,064	195,122
固定資産合計	1,328,945	1,370,725
資産合計	4,087,359	4,647,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,497	398,281
短期借入金	406,208	-
未払法人税等	199,427	231,988
賞与引当金	116,047	172,737
返品調整引当金	8,051	6,279
その他	609,026	603,062
流動負債合計	1,734,258	1,412,350
固定負債		
長期借入金	8,974	6,724
退職給付引当金	31,397	34,148
その他	8,089	9,595
固定負債合計	48,461	50,468
負債合計	1,782,720	1,462,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	2,600,681	1,763,920
自己株式	42,303	42,303
株主資本合計	2,054,631	2,891,393
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	60,830	68,476
その他の包括利益累計額合計	60,830	68,476
少数株主持分	189,176	224,939
純資産合計	2,304,639	3,184,809
負債純資産合計	4,087,359	4,647,627

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,486,581	6,909,257
売上原価	3,207,687	4,654,277
売上総利益	1,278,894	2,254,979
返品調整引当金戻入額	10,193	8,051
返品調整引当金繰入額	8,460	6,279
差引売上総利益	1,280,626	2,256,751
販売費及び一般管理費	904,642	1,193,794
営業利益	375,983	1,062,956
営業外収益		
受取利息	82	62
貸倒引当金戻入額	1,195	-
為替差益	-	6,292
償却債権取立益	-	3,622
助成金収入	769	-
その他	1,266	913
営業外収益合計	3,313	10,890
営業外費用		
支払利息	5,783	3,411
為替差損	7,277	-
貸倒引当金繰入額	-	19,576
その他	1,298	792
営業外費用合計	14,360	23,781
経常利益	364,937	1,050,065
特別損失		
固定資産売却損	36	-
賃貸借契約解約損	-	2,453
会員権売却損	804	-
和解金	1,300	-
その他	-	36
特別損失合計	2,141	2,490
税金等調整前四半期純利益	362,795	1,047,575
法人税、住民税及び事業税	37,298	228,111
法人税等調整額	-	45,714
法人税等合計	37,298	182,397
少数株主損益調整前四半期純利益	325,497	865,177
少数株主利益	20,107	28,416
四半期純利益	305,389	836,761

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325,497	865,177
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,229	14,992
その他の包括利益合計	12,229	14,992
四半期包括利益	313,267	880,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,152	844,407
少数株主に係る四半期包括利益	14,115	35,762

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,795	1,047,575
減価償却費	28,465	43,104
のれん償却額	14,821	35,222
返品調整引当金の増減額(は減少)	1,732	1,772
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,095	5,967
退職給付引当金の増減額(は減少)	276	2,751
賞与引当金の増減額(は減少)	12,709	56,836
受取利息及び受取配当金	82	62
支払利息	5,783	3,411
為替差損益(は益)	7,608	5,935
有形固定資産売却損益(は益)	36	-
有形固定資産除却損	-	0
会員権売却損益(は益)	2,704	-
売上債権の増減額(は増加)	21,971	153,454
その他の資産の増減額(は増加)	4,240	10,133
たな卸資産の増減額(は増加)	66,479	18,654
仕入債務の増減額(は減少)	12,609	1,685
その他の負債の増減額(は減少)	47,657	17,072
未払消費税等の増減額(は減少)	11,247	37,739
その他	929	-
小計	439,973	1,098,664
利息及び配当金の受取額	82	55
利息の支払額	12,267	72,542
法人税等の支払額	42,349	200,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,439	825,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	44,641	95,593
有形固定資産の売却による収入	12	-
無形固定資産の取得による支出	-	1,730
出資金の回収による収入	-	1
差入保証金の差入による支出	3,371	12,416
差入保証金の回収による収入	-	265
会員権の売却による収入	2,195	-
貸付けによる支出	-	120,000
貸付金の回収による収入	786	515
保険積立金の積立による支出	10,946	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,965	228,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	180,000	406,208
長期借入金の返済による支出	1,952	2,533
リース債務の返済による支出	-	1,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	181,952	409,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,543	11,449
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	135,978	197,779
現金及び現金同等物の期首残高	666,265	674,004

現金及び現金同等物の四半期末残高	802,243	871,784
------------------	---------	---------

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社アスモレーディング及び株式会社アスモフードサービスを連結の範囲に含めております。

これは、平成25年4月1日付で当社を分割会社とし、当該会社を新設会社とする分社型の新設分割によるものであります。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

該当事項はありません

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
従業員(1名)	56千円	-千円
堂島ホテル㈱	154,823	40,393
計	154,879	40,393

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び手当	323,737千円	402,623千円
賞与引当金繰入額	49,517	74,020
退職給付費用	276	5,885
貸倒引当金繰入額	-	729

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	802,243千円	871,784千円
現金及び現金同等物	802,243	871,784

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	871,784	643,046	2,837,439	134,310	4,486,581	-	4,486,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,439	-	76	-	1,515	1,515	-
計	873,224	643,046	2,837,515	134,310	4,488,097	1,515	4,486,581
セグメント利益	34,238	53,817	352,483	76,264	516,803	140,819	375,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,803
セグメント間取引消去	157
のれんの償却額	12,180
全社費用(注)	128,743
たな卸資産の調整額	52
四半期連結損益計算書の営業利益	375,983

(注)全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H.K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,580	1,005,861	3,266,935	1,731,983	874,498	6,883,858	25,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	399,826	13,026	7,273	-	-	420,125	-
計	404,406	1,018,888	3,274,208	1,731,983	874,498	7,303,984	25,398
セグメント利益又は損 失()	245,688	1,115	93,673	730,295	57,207	1,127,980	23,223

（単位：千円）

	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
売上高			
外部顧客への売上高	6,909,257	-	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	420,125	420,125	-
計	7,329,382	420,125	6,909,257
セグメント利益又は損 失()	1,104,756	41,800	1,062,956

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,127,980
「その他」の区分の利益又は損失()	23,223
セグメント間取引消去	41,800
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,956

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、従来の「卸売事業」、「給食事業」、「介護事業」及び「外食事業」を「アスモ事業」、「アスモトレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「OX(H.K.)事業」に区分し報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

当第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成した情報は次のとおりであります。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,005,861	874,498	3,266,935	1,731,983	6,879,278	29,978	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,026	-	7,273	-	20,299	-	20,299
計	1,018,888	874,498	3,274,208	1,731,983	6,899,577	29,978	6,929,556
セグメント利益又は損 失()	12,812	59,663	424,364	743,394	1,240,235	18,561	1,221,674

(単位：千円)

	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
売上高		
外部顧客への売上高	-	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,299	-
計	20,299	6,909,257
セグメント利益又は損 失()	158,717	1,062,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,240,235
「その他」の区分の利益又は損失()	18,561
のれんの償却額	14,821
全社費用(注)	143,895
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,956

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円18銭	5円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	305,389	836,761
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	305,389	836,761
普通株式の期中平均株式数(千株)	140,209	140,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社アスモ
取締役会 御中

清 和 監 査 法 人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	井堂 信純	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	坂井 浩史	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	高橋 潔弘	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスモの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスモ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成25年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表は、前任監査人によって四半期レビューが実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成24年11月14日付で無限定の結論を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。